

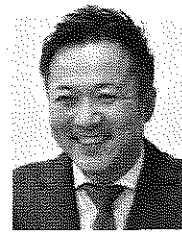
第3回

あなたの会社に外国人がやって来た!

宿泊業は外国人にとって魅力的な就職先なのか?

株式会社ダイワ

普沼 基



前回、外国人向けの教育プログラムを導入している宿泊施設は9%足らずとお話ししました。
今後、特定技能ビザで就労する外国人人材が

急がれる教育環境の整備 でも「働きたい人」はどれだけいるのか

急増すると見込まれま
すが、この在留資格の
取得に必要な日本語の
要件は「日本語能力試
験」のN4レベル以上
つまり基本的な日本語
が理解できればOKと
されています。日本人
と同じ教育環境では、
外国人材がスキルを磨
くことは難しいかもし
れません。マニユアル
の母国語対応は最低限、
さらに動画を活用した
研修や言語に対応する

機器の導入など進める
必要があります。
ただ環境を整えても、
働きたい人がいなければ
意味がありません。
実際に、宿泊施設は
外国人にとって魅力的
な就職先なのか? 皆さ
んも気になるところで
はないでしょうか。
先日、日本語学校で
登壇した際に就職課の
先生からお聞きしたと
ころ、その学校ではホ
テルや旅館のフロント

が一番人気だそうです。
その学校はベトナムや
ミャンマー、ネパ
ルの出身者が多く、4
月に第1回目が行われ
た特定技能の宿泊業技
能測定試験でもこれら
国籍の人が大半を占め
ていたことから、これ
らの国の留学生からの
人気がうかがえます。
当社は先日、ベトナ
ムで技能実習中・実習
後の130名を対象に
アンケートを行いました。
「宿泊業での仕事
に興味はありますか?」
という質問には、回答
者の77%が「興味あり」
と答えています。
また、ベトナム側の
送り出し機関の担当者

数名にもヒヤリングし
たところ、宿泊業は他
の対象業種に比べて肉
体労働が少なく、業務
内容の面である程度の
人気はある、という話
でした。ただ、外国人
人材の中にはサラリー
びにしたりするのは
を最重要視する人、つ
まり稼きたい人も多く
います。いざ待遇面を
比較した際に、他の対
象業種よりも見劣りし
てしまい、結果、宿泊
業を選択する人が減る
恐れがある、という懸
念もあります。

■著者プロフィール

新卒入社の子会社で人事(採用領域)を経験。その後、宿泊施設専門の人材サービス会社であるアプリ(現ダイワ)に入社し、営業、支店長、エリアマネージャーを10年間経験した。上京支援サービス、台湾人材サービスの立ち上げ責任者を歴任し、2019年4月より外国人人材サービスの立ち上げ責任者に就任。国家資格2級キャリアアドバイザー、技能士、温泉ソムリエ。

■株式会社ダイワ

リゾート・観光施設に特化した人材サービスを展開。5月29日には特定技能外国人の支援計画の作成・実施を行う登録支援機関に認定された。(登録番号:19登000268)

開発・開業計画